

たのの



TANO HOSPITAL

田野病院

〒781-6410 高知県安芸郡田野町1414-1
TEL 0887-38-7111(代) FAX 0887-38-5568発行人 白井 隆
(題字 安岡 寧水)TANO HOSPITAL ホームページ <http://www.usui-kai.com/> E-Mail:info@usui-kai.com

高知DMAT協定調印式（平成28年5月10日）撮影：当院にて
田野病院DMAT隊

CONTENTS

ページ

■ 夏が来れば思い出す	1
■ D M A 調印式を終えて	2
■ リハビリテーション認定臨床医を取得	2
■ 認定理学療法士(発達障害 分野) 取得	2
■ 呼吸療法認定士取得	2
■ 病気のはなし	3
■ 新薬情報	3
■ コメディカルラリー	4
■ リレーエッセイ	4
■ 新入オリエンテーション	5
■ 医療ガスセミナー	5
■ B L S 研修	5
■ 楽楽けんこう隊	5
■ 接遇ラウンド実施	6
■ 熊本地震支援活動報告会に参加して	6
■ ピーマンのおかか炒め	6
■ 救急医療研修会	6
■ 田野病院皮膚科開設のご案内	7
■ 月曜日の整形外科完全予約制のお知らせ	7
■ スタッフ募集	7
■ N H K の取材を受けました	7
■ さんさんスピタルインフォメーションCM撮影をして	8
■ 新入職員歓迎会	8
■ おらんくの病院	8
■ 介護事業部だより	8
■ 新しい保育園の名称は「たのしい保育園」	9
■ 平成28年度永年勤続表彰受賞者一覧	10
■ 結婚しました	10
■ 新人紹介	10
■ 編集後記	10

夏が来れば思い出す

院長 白井 隆

夏が来れば思い出すという歌詞の歌がありますが、私の誕生月が7月だと言ふこともあります。夏の思い出に頭の中を切り替えると、懐かしい、楽しい思い出が、湧き出でてきます。同時に元気が湧いてくるようにも思えます。何十年分もの映像が今、私の頭の中を駆け巡っています。たくさんのモニター画面で一度にたくさんのが、時代の異なる懐かしい場面が写し出されてきます。海であったり、山であったり、川であったり、畑であったり、今年もそんな夏が来ました。同窓会や同期会も夏に行われることが多く、夏の思い出をすばらしい物にしてくれます。しかし最近は、新しい夏の思い出が増えません。従つて、よけいに、古い夏の思い出が輝いてきます。私は日記を書いていますが、とりとめの無い、無難な事しか書いていませんので、ひょっとしたら人が見ても面白くもおかしくもない、ドキッとするようなこともない、そんな日記ですが、いつから書き出したのかは覚えて無く、確かめてみると、西暦

2000年の1月1日からでした。そういえば西暦2000年問題で、世間が騒がしかったことを見出しました。世纪が変わるとコンピューターにトラブルが起きるのではないかと、またことしやかに問題になりましたが、そのことがきっかけだったかもしれません。それ以来、16年半も日記を書き続けたのかと、長いような気もすれば、まだその程度の年月かと言う気もします。古い日記を開いて振り返ることはほとんど無いのですが、この機会に、日記の中の夏の思い出を探してみようかと思います。これまでの夏の思い出としては強く心に残っているのは、高校生ぐらいまででしょうが、大學生になってからも、勿論、クラブ活動であったり、合宿であったり、たくさん思い出があります。これまでの夏の思い出ですが、将来の仕事の色合いが徐々に濃くなってきた時期でもあり、自分の責任の下での思い出となっていますので、やはり人生の中で夏の思い出として脳裏に浮かぶのはその頃の記憶です。

皆さんも、一人一人の中にある、まさに目の前で自分が動いている思い出を、今年の夏は見てみませんか。

DMA T調印式を終えて

外来中材手術部 副師長 四國 大輔

日本DMA T隊員養成研修を修了し、5月10日に県と協定を締結。晴れて田野病院にDMA Tが誕生しました。

メンバーは臼井大介先生、薬剤師の齊藤忠男さん、理学療法士の森下誠也さん、看護師の中屋康一郎さんと私の5名です。

DMA Tとは、災害時に活動できる機動性を持ったトレーニングを受けた医療チームのことです。1チーム4~5名で、チームあたりの活動時間は概ね48時間とされており、複数のチームが交代をしながら活動に当たります。

南海トラフ地震では多大な被害が予想されています。より多くの被災者を救えるように、これからも技能の維持・向上に努めるとともに、院内の防災や、地域の防災に貢献できるよう取り組んでいきますので、よろしくお願いします。

また今後は、実動訓練の状況などもお知らせしていきます。



臼井大介医師 リハビリテーション認定臨床医を取得

平成28年3月19日に当院臼井大介医師がリハビリテーション認定臨床医を取得しました。リハビリテーション認定臨床医とは、(公)日本リハビリテーション医学会が専門的知識や技術を持っていると認めた医師に与えるものです。厳しい認定基準や、5年毎に資格審査が行われる大変ハードルの高い資格です。臼井大介医師は日々診療のかたわら研鑽をし、みごとリハビリテーション認定臨床医となりました。

臼井大介医師より一言：「地域の皆様の健康と生活の為、今後より一層力を尽くしていきたいと思います。」

認定理学療法士（発達障害 分野）取得

リハビリテーション部 理学療法士 森下 誠也



平成28年2月27日に認定理学療法士認定試験を受験し、無事合格する事が出来ました。これで当院には昨年度合格した者を含め、3人の認定理学療法士が在籍することになりました。私が取得した分野は「発達障害」という分野で、高知県内で1人目（と聞いています）。私が認定理学療法士を目指したのは、最低限標準的な小児理学療法を提供できるようになろうと思ったことがきっかけでした。皆さんも御存じの通り当院には小児科があり、東部地域の小児リハビリを行う子どもも増加傾向にあります。そこで「とりあえず近くにあるから」ではなく「田野病院の小児リハを受けたい」となるためには、やはり科学的に根拠のある関わりやそれを保護者の方々に説明できるだけの知識が必要だと感じ、勉強をしてそれを形に残すための受験でした。「認定理学療法士」の名に恥じぬよう、そして子どもさんや保護者の方々に必要とされ楽しんで関わってもらえるよう、これからも精進していきます。

※現在当院では、3名の認定理学療法士が活躍しています。（脳卒中分野2名・発達障害分野1名）

呼吸療法認定士 取得

リハビリテーション部 理学療法士 楠本 拓麻



3学会合同呼吸療法認定士とは、日本胸部外科学会・日本呼吸器学会・日本麻酔科学会の3学会が創立した「3学会合同呼吸療法認定士認定委員会」が受講資格を有すると判定した者のうち、認定講習会の履修後、試験にて一定の合格基準に達した者に与えられる資格です。

僕がこの資格を取得しようと思った理由は、田野病院で働き始めて呼吸器疾患の多さに驚き、また現在、在宅での訪問リハビリもさせて頂くようになり呼吸理学療法及び人工呼吸器管理等は今や病院だけの時代ではないと実感したからです。

試験勉強は正直大変でした。学生時代、国家試験に向けて勉強した時より頑張りました。その結果、無事昨年試験に合格する事が出来ました。

自分が勉強した証として形に残り、このようなコラムを執筆させて頂ける機会も得られ、少しでも多くの方々に呼吸療法認定士を知って頂ければ幸いです。

これから多くの患者様・利用者様に質の高いリハビリテーションを提供出来るよう頑張って行きたいと思います。

※現在当院では、7名の呼吸療法認定士が活躍しています。

新規取得者⇒【作業療法士】曾我本祐大 【理学療法士】秋友真雄 和田介成 楠本拓麻

病気のはなし

マイコプラズマ感染症

副院長・小児科部長 島崎 洋成



今回はマイコプラズマ感染症についてお話しします。この菌は一般の小児外来でよくみられる肺炎の起因病原体として知られています。幼児から成人まで幅広い年齢層でかかりますが、主に小児では学童期から思春期、また成人では20~40代といった若い健康な年齢層でよくみられる肺炎です。乳幼児ももちろん感染しますが、上気道炎、気管支炎といった感冒症状の場合が多いと認識されていましたが、最近では肺炎に進展するケースもよくみられます。

以前は、オリンピックの年ごとに全国規模の流行がありオリンピック病といわれていたときもありましたが、1988年以降その傾向もくずれ毎年散発的に季節性もなくみられています。最近、診断技術の向上もあり症例数は増加傾向と思われます。

感染経路は主に保育所や学校、家庭などで咳、唾液分泌物がとぶ飛沫感染で起こり、体にマイコプラズマが侵入してから症状が出てくるまで（潜伏期間）2~3週間程度といわれています。

さてその症状はまず発熱で発症しその後コンコンといった空咳がで、咳が徐々に増加してきます。初期に外来受診された場合、最初は上気道炎、一般的な「かぜ」と診断されることも多いです。ただよくみられる咳、鼻汁が多くみられるかぜに比べ鼻汁は少ないように思います。発熱、咳などで受診された初期（1~2日目）から肺炎になっているわけではなく熱が3~4日たっても下がらず、また咳も増悪し再診されマイコプラズマ感染症を疑われるケースが典型的です。個人差もありますが大体4~5日目以降、胸部写真の検査でなんらかの肺炎像がみられてくる場合が多いです。ちょうどそのころお医者さんが聴診してもあまり肺炎を疑う音が聞かれないのであります。（個人のマイコプラズマに対する免疫反応の強さで様々な肺炎像を呈すため）治療して解熱しても咳は減少しますが2~3週間程度は持続します。ほか経過中、発疹も伴うものは1割くらいといわれています。あとごく稀ですが急性脳炎、急性髄膜脳炎など中枢神経系や皮膚、粘膜に障害をおこすStevens-Johnson症候群などほか様々臓器に合併症も起こすことも知られています。

検査には胸部写真、血液検査があり、最近ではインフルエンザ検査のように迅速に咽頭、鼻腔から採取した検体で調べる抗原検査もあります。感度がよくなく陰性になることもあります。調べても陰性だからマイコプラズマ感染でないということにはなりません。そのほかにもっと正確な診断としてマイコプラズマに特徴的な遺伝子を検出する検査（LAMP法）もあり、発症初期から病原体を検出可能ですが、一般の病院、診療所では外部に検査を委託するので結果に数日要します。またマイコプラズマの抗体をみる検査もいろいろありますが、その解釈には専門的の知識が必要です。

そして治療ですがマイコプラズマを疑った場合、まずマクロライド系という抗生物質で治療します。（セフェム系、ペニシリン系の抗生物質は効果がありません。）ただ治療しても2~3日で熱が下がらない場合はマクロライドに抵抗力ももったマイコプラズマ菌が疑われる抗生物質の変更が必要になります。2001年以降そのような耐性菌の増加傾向がみられています。投与方法は経口や点滴など個人の状態により決めます。一般に肺炎の種類のなかでは軽症が多く入院せず外来で加療することができますが、症状に個人差もありますので体力の消耗や経口摂取がままならない場合は入院加療となります。

予防は特別なものではなく罹患者との強い接触は避け、うがいなどを慣行することが大切です。また咳が遷延したり、熱などが続くなどほかマイコプラズマに似た病気もさまざまありますので最初は感冒と思っても上記のような症状であれば早めの小児科の受診をしていただければよいと思います。

新薬情報

モーラスパップXR120mg

薬剤部主任 齋藤 忠男

今回は昨年末、久光製薬から発売されたモーラスパップXR120mgについてご案内します。

いわゆる「湿布」ですが、実はこの湿布には「テープ剤」と「パップ剤」という違いがあるのをご存じですか？ それぞれの特徴を下の表に簡単にまとめてみました。

	テープ剤（薄い肌色）	パップ剤（厚みのある白色）
メリット	剥がれにくい 伸びやすい 保湿性に優れる	ひんやりした貼り心地 肌に優しい
デメリット	かぶれなどの皮膚トラブルが多い 貼るときにグチャッとなる	剥がれやすい
こんな症状に	慢性的な肩、膝、腰などの痛みに	急性の打撲や捻挫、肩、膝、腰などの痛みに
代表商品	・モーラステープ ・ロキソニンテープ ・ポルタレンテープ など	・モーラスパップ ・ロキソニンパップ ・MS冷シップ ・アドフィードパップ など

こうやって見ると急な痛みにパップ剤、慢性的な痛みにテープ剤という感じですね。

今回ご紹介するモーラスパップXR120mgは急な痛みに相性の良いパップ剤です。

同社の従来品であるモーラスパップ30mgと比較して、

- ①有効成分ケトプロフェンが4倍
 - ②粘着力が約1.5倍で、曲げ伸ばしても剥がれにくい
 - ③効果持続時間が伸びて1日1回貼替えでOK
- など大幅な改良が加えられています。

当院でも処方可能となっておりますので、ご希望の際には主治医にご相談下さい。



コメディカルラリー ~ロコモティブシンドロームを知っていますか?~

リハビリテーション部 作業療法士 岡本値代子

ロコモティブシンドローム（以下、ロコモ）とは、加齢により骨、関節、筋肉などが衰え、歩行や日常生活に何らかの障害が出てしまうことを指します。つまりロコモが進めば介護が必要になったり、寝たきりになるおそれがあります。これは誰でも起こりうる可能性があることなのです。まずはロコチェックをしてみてください。

- ①片脚立ちで靴下がはけない
- ②家中でつまずいたり滑ったりする
- ③階段を上るのに手すりが必要である
- ④横断歩道を青信号で渡りきれない
- ⑤15分くらい続けて歩けない
- ⑥2kg程度の買い物をして持ち帰るのが困難である
- ⑦家の中のやや重い仕事（布団の上げ下ろしなど）が困難である

いかがでしたか？1つでも当てはまれば、ロコモの可能性があります。ロコモの予防に推奨されている運動を2つ紹介します。

☆ロコトレーニング

①開眼片脚立ち	②スクワット
	
両手や片手を机などについて床に触れない程度片足をあげます。片足1分で両足行い、1日3回行いましょう。	机などに手をついて立ちあがったり座ったりします。5～6回くりかえし、1日3回行うようにしましょう。

注：痛みのある人については無理をしない範囲で行って下さい。

リレーエッセイ

通所リハビリテーションたの 介護福祉士 橋本 亜希



先日、数十年ぶりに甲浦の白浜へ娘と出かけてきました。梅雨の晴れ間か、天気も良過ぎるほどで最高の海日和でした。まだ6月で梅雨真っただ中だったせいか、海水浴を楽しむ人もまばらで半分プライベートビーチの様でした。

砂浜を見た娘は興奮して、海に向かってダッシュ。数日前から風邪気味だった為、海の中には入らない約束で、波打ち際でさっそく仕事（砂遊び）に取りかかりました。

最初は服を濡らさないように私の様子をうかがいながら遊んでいましたが、ものの5分もしない内にジャップジャップ。「着替えがあるき、濡れてもえいでね？」と、私に聞いてきたときには、既に水没していました。

そんな娘の姿と海を眺めながら、しばらくぼーっとしていました。

子育てを始めてから、少しでも時間ができると「なんかせなもったいない！」と思いつ、せかせか過ごしていたように思います。時間があるからこそ、なにもせずに時間を満喫するのも悪くないと気付いた1日でした。



新人才リエンテーション



西病棟 看護師 河村 亮

新人才リエンテーションを通して、病院の理念・方針を学びながら、一社会人としての必要知識も学ぶことができました。3日間の流れを記載した資料や各研修のタイムスケジューリングなど、当日の流れが分かりやすくなっています。さらに3日間という短期間の間に必要な知識が得られるような時間配分・内容であったことからスムーズに内容を理解することができました。また、配布頂いた資料内に病院内で実際に使用する書類の例を入れていただいていることにより、必要時にどの書類を記載すればいいか判別しやすくなっていることが大変ありがとうございました。

3日間という短期間での研修である為、実技演習が少ないことは少し残念に感じましたが、平井看護師長や大久保看護師に、自身の採血や吸引の手技を直接見ていただき、助言を頂いたことでその後の業務に活かすことができています。

4月に田野病院に就職して早3ヶ月となり、病院内での看護師の役割も一通り熟知し、今後は自身の手技の向上や患者様の状態に応じた看護展開の為の知識習得を目標に、研鑽に励んでまいりたいと思います。

医療ガスセミナー

回復期リハビリ病棟 准看護師 川村 光璃



普段私たちが使用している医療用ボンベについて講習を受けました。酸素ボンベの性質や新しいボンベ・使いかけのボンベ、使用時の取り扱いマニュアルなどについて教えて頂きました。酸素ボンベは、酸素自身で燃えたり、爆発したりするガスではないが、燃える物を激しく燃焼させる性質があり、取り扱いは慎重に行う必要があります。また医療用酸素は圧力注意・火気厳禁・油脂厳禁なため余計に注意しなければなりません。もし少しでも怠ると、医療ガスの関連事故に繋がる恐れがあるからです。平成25~27年の2年間で在宅酸素療法中での火災事故は12件報告されていて、原因はほとんど不明とされ、死亡事例もあります。セミナーを通して酸素ボンベの取り扱いについて改めて安全性を把握した上で行う重要性を再認識させられました。

BLS研修

リハビリテーション部 作業療法士 西岡 陸



BLSとは一次救命処置の事で、急に倒れた患者様に対し、その場に居合わせた人が救急隊や医師に引き継ぐまでの間に行う応急手当の事です。正しい知識と適切な処置を知っていれば誰でも行う事ができます。

BLSは発見者がまず周囲にいる人に大きな声で呼びかけ、AEDを取って来てもらい、医師または救急車(救急隊)を呼んでもらう人を指名します。AED到着までに意識・呼吸・脈拍を調べ確認が取れない場合は速やかに心臓マッサージと人工呼吸を開始し、AED到着まで行い続けます。AEDが届くまでしんどかったです。ドラマなどで心臓マッサージのシーンが流れる事があり、俳優さんがセリフを言いながら汗を流さずに行ったりするシーンがありますが、実際は1分間に100回のテンポで圧迫し続ける必要があり、私は2~3分で汗が流れ始めました。

このような救急に備えた事を学ぶ事で患者様や利用者様に安心できるリハビリを提供する為にも大切な研修と実感しました。



~正しい温泉・お風呂の入浴の方法~

総務課 牛窓 靖



平成27年12月まで田野病院、リハビリ棟で開催していた健康教室「楽楽けんこう隊」をリニューアルし、平成28年4月から医療法人臼井会が運営する「たのたの温泉」で開催を始めました。

温泉の正式名称は、厚生労働大臣認定温泉利用プログラム型健康増進施設たの温泉となります。この施設基準を取得することにより医療法人が温泉経営を行うことができるようになりました。

現在この健康教室は、月に一度のペースで温泉を利用した健康増進に役立つテーマを中心に開催しています。5月は「正しい温泉・お風呂の入浴の方法」について、温泉入浴指導員の岡林輝親さんに講演をして頂きました。今のところ参加者が少ないですが、徐々に増やしていきたいと思います。

開催日時 毎月第四金曜日 11:00~12:00

参加者には通常料金700円のところ、500円で温泉施設が利用できる特典付きです。もちろん、健康教室は無料です。興味がある方はぜひご参加ください。

接遇ラウンド実施

リハビリテーション部 理学療法士 岡林 輝親

当院のサービス向上委員会では、本年度よりサービスの質の向上を目指して、外部講師をお招きし、6月13日(月)に、接遇ラウンドを実施させて頂きました。

「挨拶」、「言葉使い」、「身だしなみ」などの項目をさらに30項目に細分化したチェックシートを作成し、「優・良・可・不」の4段階で評価をいただきましたが、先生曰く「どれだけ多くの職員の方が出来ていても、たった一人の方が出来ていなければ、その方が関わった患者様、利用者様の病院に対する印象は悪くなってしまいます。そのため、一人でもできていないところに遭遇すれば、『不可』をつけています」とのこと、初回である今回の評価はかなり手厳しいものとなりました。



その後、午後の業務終了後に、ラウンド後のフィードバックとして研修会を開催していただきました。研修では、「身だしなみ」、「動作」、「態度」、「言葉使い」、「ご案内の仕方」など、ラウンドで気になった部分も具体的にご提示頂きながら教えて頂きました。実施後のアンケートでは、「定期的に開催して欲しい」、「気を付けているつもりでも、研修で改めて学ぶとまだまだ不十分に感じたので改善していきたい」といったような前向きな意見が多く寄せられ、接遇に対する意識が上がったように感じました。

熊本地震支援活動報告会に参加して

リハビリテーション部 理学療法士 森下 誠也



4月14日および16日に起きた熊本地震において薬剤部斎藤主任が活動されたとのことで、その報告会に参加しました。

斎藤主任は4月27日から5月3日までの1週間に渡って、現地の災害医療調整本部にて会議の記録や日々の報告会等に参加してきたとの事でした。当院での報告会では、被災地の状況や本部での活動内容について、写真を使用し説明してくれました。

実は私の出身地も熊本であり、両親や兄弟、親戚も被災しました。幸いなことに、家は住める状態であり家族には怪我もありませんでしたが、帰省した際、少し離れた場所では倒壊した家や隆起した道路が見られました。東日本大震災から5年が経ち、被災者や関係者の方々以外の記憶はやや薄れていっているように感じますが、改めて震災の怖さや復興の大変さを感じました。

新聞で御存知の方もおられると思いますが、当院に日本DMAT隊が結成され、県との協定も結ばれました。斎藤主任と私はDMAT隊の一員であるので、今回の経験はいずれ起きると言われている南海トラフ地震に対して活用していく、当院を利用される患者様のみならず地域の方々への啓発にも役立ていかなければならぬと思いました。

救急医療研修会



平成28年6月8日開催

講師：副院長 島崎 洋成

『小児ぜんそく』



ピーマンのおかか炒め

栄養部 管理栄養士 小松 華子

【材料】

- ピーマン4個 ●エノキタケ 50g ●かつお節 小袋1個
- 麺つゆ（ストレート）大さじ2 ●砂糖 1つまみ ●ゴマ油 適量

【作り方】

- ①ピーマンを短冊に切りにし、エノキタケは食べやすい長さに切りほぐしておく。
- ②鍋にゴマ油をひき、中火でピーマン、エノキタケの順で炒めエノキタケがしんなりしてたら、かつお節を加え混ぜて一度火を止める。
- ③麺つゆと砂糖で味付けする。
- ④汁気をとぼすため、再び火をつけて炒める。最後にゴマ油を少し加え香りを出す。



☆彩りを良くするため、4個の内1個だけ赤ピーマンを使ってみました。ソーメンを食べる機会が増える夏に、麺つゆを使った料理を紹介させて頂きました。

田野病院 皮膚科開設のご案内

総務課 岩崎 宏紀

当院では、平成28年6月1日より『皮膚科』診療を開始しました。

中芸地区になかったこともあり、以前からご要望も寄せられておりましたが、高知大学医学部皮膚科学教室のご協力により、この度開設となりました。

皮膚科は、頭や顔、手足に加え、口の中の一部まで含める全身の皮膚トラブルを治療する診療科です。

さらに、爪や髪の毛に関する疾患も皮膚科の領域になります。

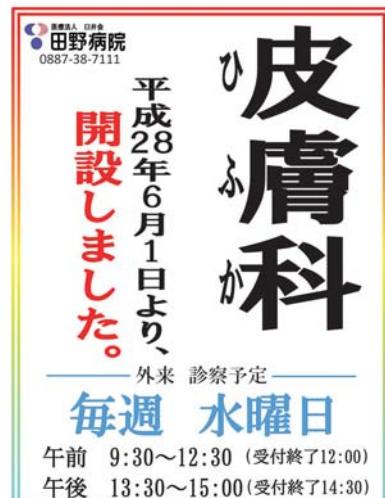
皮膚科疾患で代表的なものとしては、湿疹や膿瘍、じん麻疹、あざ、やけど、かぶれ、水虫、脱毛症、ヘルペス、水疱症、アトピー性皮膚炎、皮膚腫瘍などがあります。

また、皮膚病は見える、かゆい、経過が長いのが特徴です。そのため患者さんのストレスは意外と大きなものです。皮膚科では、患者さんの立場に立った治療を行います。皮膚トラブルでお悩みの方はお気軽にご来院ください。

診察日：毎週水曜日 ※都合により変更になる場合があります

時 間： 9:30～12:30(受付12:00まで)

13:30～15:00(受付14:30まで)



月曜日の整形外科 完全予約制のお知らせ

外来中材手術部 副師長 小林 沙織

平成28年7月25日(月)より、月曜日の高知大学医学部整形外科による整形外科は、完全予約制となりました。患者様は診察終了後に予約を取っていただくか、お電話で予約をしていただきますよう宜しくお願ひ致します。

また、当日予約せずに来られた方は、その日は外科で受診していただく、もしくは当日以降の整形外科の予約をお取りさせていただきます。

なお、当院は他の医療機関との連携を推し進めております。かかりつけの医療機関がある場合には、紹介状をお持ち頂くことで、より効果的で正確な診断が可能となります。出来るだけ紹介状をお持ち下さいますようお願い申し上げます。

ご不明な点がございましたら、外来スタッフまでお気軽にご相談ください。

《整形外科 診察予定》

月曜日（完全予約制）

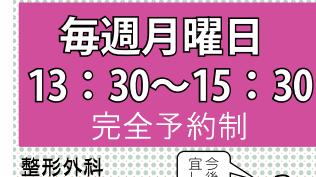
時間：13:00～15:30

受付：15:15まで

火曜日（従来通りです）

時間：13:30～17:00

受付：15:00まで



整形外科 外来診察予定日	
月	火
午前	
高知大学 整形外科 完全予約制	上杉
午後	
13:30～ 15:30	13:30～ 17:00

スタッフ募集!!

募集職種

正職員 (パート可)

- ①看護師(正・准)**
- ②介護職員**
- ③看護補助者**
- ④薬剤師**
- ⑤診療放射線技師**

給与 当院規定による

福利厚生 24時間院内保育完備・社宅あり
サークルあり
(フットサル・ピラティスなど8サークル!!)

応募方法 電話連絡もしくは履歴書をご郵送ください



施設見学
随時受付中!



医療法人臼井会
田野病院
<http://www.usui-kai.com/>

〒781-6410 高知県安芸郡田野町 1414-1
0887-38-7111
求人・奨学生のお問い合わせ：担当 吉松



高知県認証会
「子育てを応援している会員」

NHKの取材を受けました

当院看護師がNHK報道局の取材を受け、6月に全国放送されました。NHKの企画主旨は次のようなものでした。高知県は人口当たりの看護師数が日本一であるという点に着目して調査していたところ、その実態は高知市を中心とした県中央部に集中しており、郡部の看護師数は少ない。とくに東部は少なく不足しており、また新しく就職する看護師も少数で、地域で働く看護師の平均年齢も高くなっている。そのような中で働く若手の看護師に対し、どのような理由で地域で働いているのか等を取材したい、というのが依頼内容でした。

当日は複数名の看護師が取材を受け、「自分が生まれ育った地域で人の役に立ちたい」「地域で患者様やご家族を支えていきたい」「将来結婚、出産しても24時間保育があるから安心して働く」等、それぞれの思いを話していました。東京から来られたディレクターの方からは「本当に笑顔も多くて明るい職員が沢山いますね」と言っていただきました。

現在東部のみ看護師養成校もなく、確かに看護師増員は常に困難な状況ですが、当院で働く看護職員は多職種スタッフとともに365日24時間頑張っています。放送時間の都合もあってか放送されなかった職員もいたのは残念でしたが、地域の実状やそこで働く看護師の声がだれかひとりにでも届いてくれたら嬉しいと思いました。

総務課主任 小松 高司



さんさんホスピタルインフォメーションCM撮影をして

総務課主任 小松 高司



去る6月7日(火)当院におきまして「さんさんテレビCM撮影会」が院内、在宅ケアセンター、訪問診療先で行われました。当日は梅雨の真っ只中で大雨が降りしきっていましたが、撮影はすべて室内だったため、影響はさほどありませんでした。最初は訪問診療の患者様宅での撮影、そしてリハビリテーション訓練風景、リハビリ室で職員集合撮影、診察風景、デイサービス提供風景と当院の紹介を凝縮した内容で撮影しました。近日さんさんテレビ(8ch)17:53~19:00 SUNNSUNみんなのニュース番組内で放送される予定です。新しくなったCMを是非ご覧ください。今回撮影にご協力いただきました、患者様やご家族様、職員の皆様に感謝いたします。

(写真: 訪問患者様宅で同意をいただき撮影させていただきました)

おらんくの病院

リハビリテーション部 作業療法士

松岡 賢也



僕は、愛媛県南宇和郡愛南町という愛媛県最南端に位置し高知県宿毛市との県境にある小さな町の出身です。海や山に囲まれた自然豊かな町であり、天気がいい夜には無数の星が夜空を覆うとても澄んだ居心地の良い場所です。また、水揚げ量が四国で一番多いカツオをはじめ、甘夏や真鯛、真珠などが特産物として有名です。僕はこの愛南町で18年間暮らし、作業療法士を目指すため岡山の大学に四年間通いました。そして今年からこの田野病院に就職させて頂いております。僕がこの職場を選んだ理由として、大学時代の実習の際にこの病院でお世話になり、職場の雰囲気や先輩方の丁寧で優しい指導に魅かれ、田野病院の一員として地域医療に携わりたいと思ったからです。また、地元愛南町と同じく海山に囲まれた住みよい場所だと感じたのも選んだ理由の一つです。今年の目標としてまずは業務内容に慣れ、そして1人でも多くの患者様の笑顔をみられるようにリハビリに精進していきたいです。

新入職員歓迎会

総務課 保育士 田中 愛規

5月20日にホテルなはりにて行われた「新人歓迎会」に参加させていただきました。

今年は、毎年行われていたボーリング大会が変更になり、大歓迎会となりました。

新人歓迎会では、同期はもちろんのこと、各部署の先輩、上司の方などたくさんの職員が参加し、あまりの大人数で緊張していましたが、皆さん社交的な方ばかりであつという間に打ち解けて、普段関わる機会が少ない他部署の方と交流を図ることができました。院長先生の挨拶で身が引き締まり、今回の交流を活かし、これから仕事を頑張っていきたいと思います。

こういった会はとても大切だと感じながら、おいしい料理とともに楽しく充実した時間を過ごすことができ、改めて田野病院に採用されて良かったと感じました。

私事ではありますが、私はお酒が大好きなので、今後もこういったイベントなどに積極的に参加したいと思います。





介護事業部だより

デイサービスたの

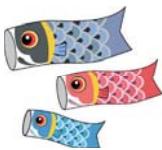


うどん作り



おいしい

鯉のぼり運動会



勝つで!!



もうちょっと



勝者は白組でした

通所リハビリ

大正琴



いつも美しい音色を
聴かせていただき
ありがとうございます



3B体操



みんなと一緒に

どうやき作り



おいしそうにおがしてな
きたね



焼きたては
うまい

新しい保育園の名称は『たのしい保育園』

総務課 保育士 高橋実佐樹

待ちに待った引っ越しの日。予報は雨でしたが、みんなの想いが届き、無事終えることができました。看護部長さんをはじめ、沢山の方々に手伝って頂き、感謝の気持ちで一杯です。

初日は新しい環境にとまどい、泣く子がいるのではと心配していましたが、みんなすんなり新しい玄関に入ってきて、広くなったお部屋では、運動量も増え、すぐにグッスリ眠ることができます。頂いたピアノの音に、喜んで踊ったり、歌ったりとてもいい反応を示しています。子どもは遊びながら知識、技能をはじめとして自主性や思いやりなどを自発的に学んでいきます。公園も近くになって、おもいっきり身体を使っての遊びや水遊びなどさまざまな経験を通して、子どもたちと一緒に“たのしい保育園”を充実させていきます。



